

感染警戒レベル引き上げを受けての本市の対応に係る
市長臨時記者会見

昨日、本市の区域において、県独自の感染警戒レベルが「3」から「4」に引き上げられましたが、この方針は、集会、イベント等の開催については慎重に判断することとなっており、市内における感染拡大防止のため、今まで以上に市民一人ひとりの自覚と行動を促す趣旨であると捉えているところでございます。

本市の新規感染者数は、4月が123件と月別で過去最多を更新したところですが、5月に入ってからの8日間で94人と急激なペースで増加しており、このままのペースで推移すれば、4月を大幅に上回ることとなり、非常に危機感を感じているところでございます。

このたびの急速な感染拡大は、川反・大町地区の飲食店で発生した面的クラスターや学校、福祉施設などでのクラスター発生が主な要因であります。最近の陽性者の傾向を見ますと、学校関係者や保育士、介護職員など、多くの方と接する機会のある職種に広がっており、新たなクラスターの発生を危惧しているところであります。本市としても、市民の皆様に対し、なお一層、感染防止対策の徹底や、感染リスクを減らすような行動を心掛けていただくよう、お願いをいたします。

こうした中、本日午前、新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し、職員に対して、最大の緊張感を持って対応するよう指示したところであります。また、この中で決定した本市の今後の対応方針について、4点お話ししたいと思います。

1点目が、イベント等の開催についてであります。

市が主催するイベントについては、まず5月末まで、中止または延期といたします。民間が主催するイベントについては、基本的には慎重な判断を求め、開催する場合には、これまで以上に感染拡大防止対策を徹底するよう注意喚起を行うことといたします。

2点目が、市有施設等の対応についてであります。

本市が所管する子ども未来センターのプレイルームや子ども広場、各市民サービスセンターの子育て交流広場については、感染対策を徹底した上で開設することとしますが、今後、保育施設等でクラスターが発生するなど、さらなる感染拡大が見込まれる場合は、休止したいと考えております。

また、県の対応に合わせ、秋田テルサ、サンライフ秋田、一つ森公園コミュニティ体育館の各トレーニングルームについては、明日11日から休止するほか、図書館については、イベント等の開催を休止いたします。

3点目は、体調が悪い場合の対応についてであります。

最近の陽性者の行動歴等を見ますと、軽い発熱や味覚あるいは嗅覚障害があるにもかかわらず、仕事や旅行などで外出し、感染を広げているケースが見受けられます。市民の皆様には、発熱や体のだるさなど、いつもと違う体調の変化があった場合は、まずは新型コロナウイルスの感染を疑い、会社や学校を必ず休むとともに、早めに「あきた新型コロナ受診相談センター」に連絡をし、相談していただくようお願いいたします。また、会社においては、発熱など体調が悪い場合、社員が休みやすい職場環境づくりに努めていただくようお願いいたしますし、保育施設等の休園あるいは小学校で休校などもこれから発生する可能性もありますので、そういった場合についても、社員が休みやすい職場環境づくり、あるいは合意づくりに努めていただきたいと思います。

なお、学校においては、児童生徒はもちろん、家族に発熱、咳などの症状がある場合には、児童生徒等の登校を控えるよう各家庭に周知したところであり、保育施設等においても、家族に症状がある場合には、登園を控えていただくよう、施設の運営者等に要請することといたします。

4点目が、抗原検査キット等の配布についてであります。

先日の記者会見において、市内の希望する保育施設等において、職員約3,300人を対象とした新型コロナウイルス感染症の抗原検査キット等を配布する予定としておりましたが、加えて、感染者が出るとクラスターが発生しやすい、学校の教職員約2,300人に対し配布することについても、各施設の調査を実施し、準備を進めることといたします。

市民の皆様には、マスクの着用や手洗いといった基本的な感染対策を今一度徹底していただくことが、ご自身はもとより、大切な人の命を守ることにもつながります。また、家庭や職場、学校などでの感染リスクを減らすための行動を実施していただくよう、重ねてお願いをいたします。

最後に、新型コロナウイルス感染症は誰もが感染する可能性があります。感染された方やそのご家族などに対するSNSなどでの誹謗・中傷は、厳に謹んでいただくよう、市民一人ひとりの思いやりと良識ある行動をお願いしたいと思います。